

令和8年度

石井小学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 主体的に学習する力の基になる基礎的・基本的な学力の定着を目指す実践
- めあての明確化や学習の振り返りなどによる、学習意欲・学力向上を目指す授業の実践
- 読書習慣の定着を図る取り組みの充実

校長

学力向上推進員

教頭
教務・少人数担当
特別支援学級主任

1学年主任
2学年主任
3学年主任

4学年主任
5学年主任
6学年主任

【各校の取組状況の把握について】

◎次の（１）～（３）をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

管理職による授業参観や教員からの報告、毎学期末に評価テストを行う等、様々な機会を捉え、取り組み状況の把握を行う。

（１）知識・技能の習得

児童生徒の状況（○よさ・●課題）	具体的目標（目指す子供の姿）	具体的方策（教員の取組）	中間期の見直し	達成状況（評価）	次年度における改善事項
○与えられた課題には真面目に取り組むことができ、基礎的・基本的な知識・技能が身についてきた。 ●習熟度が上がってはいるが、時間が経つと忘れてしまい定着しきれていないことや個人差が大きいことが課題である。 ●語彙力が乏しく、読み取ることや、表現することを苦手としている。	・基礎的・基本的な知識・技能を確実に身につける。 四則計算の技能（低90% 中高80%） 漢字の習得率（全学年85%） ・家庭学習の習慣をつける。 日目標時間（10分×学年以上） ・読書習慣を身につける。 月目標冊数（高3冊,中5冊,低10冊）	・朝のドリル（漢字・計算）や評価テストを継続し、結果をもとに指導を見直す。 ・家庭学習の状況を確認し家庭と連携をとったり、自主学習の手引きを提示したりすることで、家庭学習の定着を図る。 ・朝の読書タイムや週末読書、親子読書の充実を図る。			

（２）思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況（○よさ・●課題）	具体的目標（目指す子供の姿）	具体的方策（教員の取組）	中間期の見直し	達成状況（評価）	次年度における改善事項
○授業のめあてに対して、自分の考えをもとうと努力する児童が増えてきた。 ●知識を相互に関連付けてより深く理解すること、友達の意見を聞いて考えを深めたり解決策を考えたりすることなどに課題がある。	・自らの思いや考えを適切に表現することができる。 ・既習の知識・技能を活用して、粘り強く学習課題に取り組むことができる。 ・互いの思いや考えを大切にし、話し合い等を通して、認識を深化・拡充できる学習集団となる。	・日記や作文、新聞作りなど書く活動を継続して行い、充実を図る。 ・発問・板書・ノート指導などに着目して、授業研究を行う。 ・ペア学習やグループ学習、ホワイトボードやICTを活用した発表、図や表を用いた話し合い活動を、効果的に設定する。			

（３）主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況（○よさ・●課題）	具体的目標（目指す子供の姿）	具体的方策（教員の取組）	中間期の見直し	達成状況（評価）	次年度における改善事項
○授業に真剣に取り組む、友達の考えをしっかりと聞いたり、自分の意見を発表したりしようとする児童が増えてきた。 ●自分の学習の状況をしっかりと振り返り、自らの目標を設定し、課題を解決できるよう見通しをもって実践することに課題がある。	・自ら課題を見つけ、進んで働きかけ、課題を解決しようとする。 ・目的意識や相手意識をもって授業に取り組むことができる。	・児童の実態に応じた単元計画や、興味関心を高める方策について、学年団で工夫する。 ・課題意識や達成感、次の問題意識をもたせるために、授業のめあての明確化や学習後の振り返りを行う。 ・ICTを効果的に活用し、活動への意欲を高める。			